

「徳島版多職種で活用するポリファーマシー改善マニュアル」について

【作成の目的】

患者情報を共有するための「多職種連携シート」や国の指針をもとに、多職種で活用する「ポリファーマシー改善マニュアル」（以下「マニュアル」という。）を作成し、副作用発現（疑い）事例の早期発見から処方見直しへと問題解決につなげる。

【マニュアル作成にあたって】

- ・「高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）」（2018年5月厚生労働省）を参考とする。
- ・本県で作成した「多職種連携シート」の活用方法、実際の症例、お薬手帳の重要性等を内容とする。

【マニュアル骨子（案）】

内 容		指針（※）
1	ポリファーマシーの概念	p. 2～3
2	多剤服用の現状（ポリファーマシーの形成と解消の過程）	p. 5
3	処方見直しのプロセス	p. 8～9
4	多剤服用時に注意する症候	p. 10
5	処方の工夫と服薬支援	p. 16
6	汎用される薬剤と留意点	p. 19～34
7	多職種連携シートについて	
8	実際の症例から	
9	お薬手帳の重要性	

※「高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）」（2018年5月厚生労働省）
参照ページ

【作業スケジュール】

- ・ R 2 年 2 月中旬から下旬までに
マニュアル案作成
- ・ R 2 年 3 月末までに
マニュアル印刷・関係団体等へ送付